

「いじめの問題への対応状況の調査」結果（9月末現在）

令和3年(2021年)12月  
北海道教育委員会

◆ 調査の概要

1 調査の趣旨

いじめの問題の未然防止、早期発見・早期対応の取組の一層の充実を図るため

2 調査対象校 <計1,575校>

札幌市立学校を除く道内全ての公立小・中・高等学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校

- ・小学校787校（義務教育学校前期課程含む）
- ・中学校474校（義務教育学校後期課程及び登別明日中等教育学校前期課程含む）
- ・高等学校247校（全・定別、登別明日中等教育学校後期課程含む、通信制除く）
- ・特別支援学校67校

3 調査対象期間

令和3年（2021年）4月～令和3年（2021年）9月

◆ 調査の結果

	1. 認知したいじめの件数	対 応 状 況			4. その他
		2. 解消件数	3. 解消に向けて取組中の件数		
		・ 心理的、物理的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過している。 ・ 心身の苦痛を感じていない。	・ 心理的、物理的行為が止んでいるが、その状態が相当の期間(3か月程度)経過していない。	・ 心理的、物理的行為が止んでいない。 ・ 心理的、物理的行為が止み、相当の期間(3か月程度)経過しているが、心身の苦痛を感じている。	
令和3年度 第2回 (4月～9月)	6,669	6,124 ( 91.8% )	488 ( 7.3% )	51 ( 0.8% )	6 ( 0.09% )
小学校	5,171	4,843 ( 93.7% )	299 ( 5.8% )	27 ( 0.5% )	2 ( 0.04% )
中学校	1,145	1,012 ( 88.4% )	116 ( 10.1% )	15 ( 1.3% )	2 ( 0.2% )
高等学校	312	243 ( 77.9% )	58 ( 18.6% )	9 ( 2.9% )	2 ( 0.6% )
特別支援	41	26 ( 63.4% )	15 ( 36.6% )	0 ( 0.0% )	0 ( 0.0% )

※ ( ) は、認知したいじめの件数に対する割合